

品質保証グループ 副主任 中川悟 Satoru Nakagawa

# 株式会社グラノプト

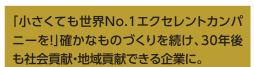
<del>∓</del>016-0122 秋田県能代市扇田字扇渕4-4 TEL.0185-70-1800 FAX.0185-70-1803 URL http://www.granopt.jp/

### [会社概要]

光通信の信号を制御する光アイソレーター の部品として使用される「ファラデーロー テータ」の製造・販売を行う。住友金属鉱山 株式会社(SMM)と三菱ガス化学株式会社 (MGC)それぞれで行っていた事業の統 合により設立され、ファラデーローテータの 世界シェアNo.1を誇る。 創業年:2005年

従業員数:75人





## 小さくても世界屈指の製造業

能代工業団地に工場を構える株式会社グラ ノプトは、光通信に欠かせない「ファラデー ローテータ」の製造・販売で世界No.1のシェ アを誇る。もともと、住友金属鉱山㈱(SMM) と三菱ガス化学㈱(MGC) がそれぞれ行って いた事業を統合し、合弁会社として2005年 に設立。大手2 社の統合により、世界シェアの 半数以上を占めるNo.1企業となった。

ファラデーローテータは、Bi置換希土類鉄 ガーネットからなる厚さ  $100 \sim 500 \mu$  mの結 晶でできており、光信号のノイズを除去する光 アイソレータの部品として使用される。光アイ ソレータは電話会社やインターネットプロバイ ダの基地局など、光信号の発信元となる設備 に組み込まれる機器だ。近年、データ伝送の 高速化や大容量化が進む光通信の分野におい て、光アイソレータは絶対不可欠な存在であ り、その重要部品となるファラデーローテータ の需要も世界的に増加傾向にある。

## 成長を支える飽くなき研究開発

入社11年目、能代市出身の中川氏は、グラ ノプトの技術開発を支える次世代のエース だ。入社以来一貫して生産効率を上げるため の研究開発に取り組んでおり(※9月に異動)、 現在の主力製品の組成は中川氏の考案によ るものだ。「研究成果が実を結んだときは嬉 しかった」と中川氏。自分で作り出したもの が世界のインフラを支えるという、ものづく



▲ 世界シェア No.1のファラデーローテータ ■ 生産効率向上のため、日々研究開発が行われている

りの醍醐味が味わえる職場だ。

高い技術とシェアを誇るグラノプトであるが、 常に順風満帆というわけではない。2006年、 EU が発効したRoHS 指令により、鉛や水銀な どの有害化学物質を使用することが禁止され た。ファラデーローテータは製造工程で鉛を使 用するため、どうしても基準値を超える鉛が製 品に残留する。これを基準値内に収めるべく、 製造プロセスに関する研究が進められた。解決 策を模索する過程で、SMMとMGCの技術を 持っていたグラノプトは、2社の知見を融合さ せることで難題を解決。いち早くRoHS 指令に 準拠した製品を作り出すことに成功した。

需要の増加に対応するため、来年には生産ラ インを増設する予定だが、目下の課題は製造に 携わる技術者の確保。そして今後の目標は現 行製品の生産の効率化と、ファラデーローテー タ以外の柱となる事業の確立だ。 既存技術に 対して、それを超える新技術がいつどんな形で 現れてくるかは分からない。しかしながら、それ を創り出すための努力を続けることこそが、トッ プランナーとしての責務であり、リスク対策で もある。「世界に貢献しながら、30年後も会社 が存続していくために、新たな事業を模索して いきたい」と若きエンジニアは熱く語る。